



インフルエンザに注意！ しっかり手洗い、きちんとマスク

令和2年1月10日
富山県感染症情報センター
(0766-56-5431 直通)
(0766-56-8142 細菌部)
(0766-56-8143 ウイルス部)

感染症発生動向速報

(令和2年第1週分・12月30日～1月5日)

(令和2年第2週分は令和2年1月16日(木)発行予定です。)

《インフォメーション》

●インフルエンザ

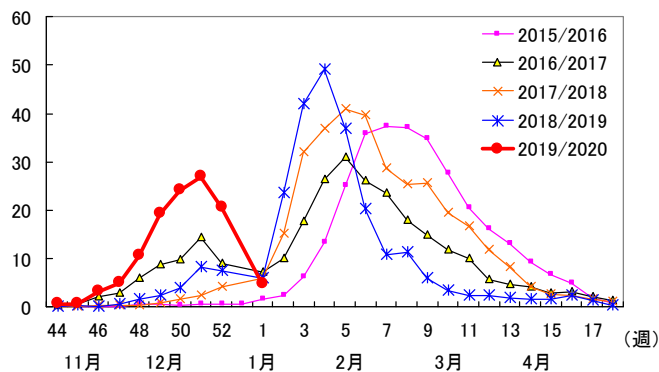
今週、インフルエンザの報告数が定点医療機関あたり4.54人となり、先週(20.56)から減少しました。しかしながら、年明け以降、急激に報告数が増加する傾向があるので、引き続き注意が必要です(図参照)。また、例年1月下旬から2月に流行のピークを迎えます。まだワクチンを接種していない方は、早めに接種しましょう。

インフルエンザはインフルエンザウイルスによって起こる気道を中心とした急性感染症です。感染経路は主に飛沫、接触感染です。典型的にはウイルスに感染後、1～2日の潜伏期を経て38℃を超える高熱、頭痛、関節痛、筋肉痛などの全身症状が突然現れるのが特徴です。特に、小児では脳炎・脳症、高齢者では肺炎等の合併症に注意が必要です。

次のことに気をつけて、感染予防等に努めてください。

- ワクチンを接種する
- 咳エチケットを守る
- 外出後の手洗いを徹底する
- 室内の湿度を適度(50～60%)に保つ
- 十分な休養とバランスのとれた栄養摂取を心がける
- 症状がある場合は早めに医療機関を受診する

(人/定点) 5シーズンの患者報告数の推移(富山県)



《全数報告の感染症》

三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 1件(10歳未満、女性、O157、VT2)

五類感染症 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件(50歳代、女性、A群)

侵襲性肺炎球菌感染症 2件(①第52週診断分:10歳未満、女性
②90歳代、男性)

《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患

順位	疾病名	定点あたりの数	
		今週(増減)	先週
1位	インフルエンザ	4.54(↓)	20.56
2位	感染性胃腸炎	2.55(↓)	10.76
3位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.90(↓)	6.17
4位	流行性角結膜炎	0.71(↑)	0.14
5位	手足口病	0.34(↓)	1.45
6位	伝染性紅斑	0.21(↓)	0.76

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます

アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

※現在システム障害のため、一部閲覧できないデータがあります(調整中)

○感染症発生動向調査報告状況（令和2年第1週 令和元年12月30日～令和2年1月5日）

分類	疾患	今週報告分（第1週）						累積報告数					
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症					1	1					1	1
五類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症					1	1					1	1
	侵襲性肺炎球菌感染症					1	1					1	1
定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ	83	21	24	44	46	218	83	21	24	44	46	218
		11.86	4.20	1.85	6.29	2.88	4.54						
	RSウイルス感染症	1				5	6	1				5	6
		0.25				0.50	0.21						
	咽頭結膜熱	2		1		1	4	2		1		1	4
		0.50		0.13		0.10	0.14						
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	1	8	2	13	26	2	1	8	2	13	26
		0.50	0.33	1.00	0.50	1.30	0.90						
	感染性胃腸炎	25	6	9	3	31	74	25	6	9	3	31	74
		6.25	2.00	1.13	0.75	3.10	2.55						
	水痘	2				4	6	2				4	6
		0.50				0.40	0.21						
	手足口病			6		4	10			6		4	10
			0.75		0.40	0.34							
伝染性紅斑					6	6					6	6	
					0.60	0.21							
突発性発しん			2			2			2			2	
			0.25			0.07							
ヘルパンギーナ	1					1	1					1	
	0.25					0.03							
流行性角結膜炎		1	4			5		1	4			5	
		1.00	2.00			0.71							
インフルエンザによる入院患者(*)	2	1	2	7	2	14	21	3	17	25	29	95	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

*インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和元年第36週(9月2日)～の集計です。

インフルエンザ定点における患者診断状況

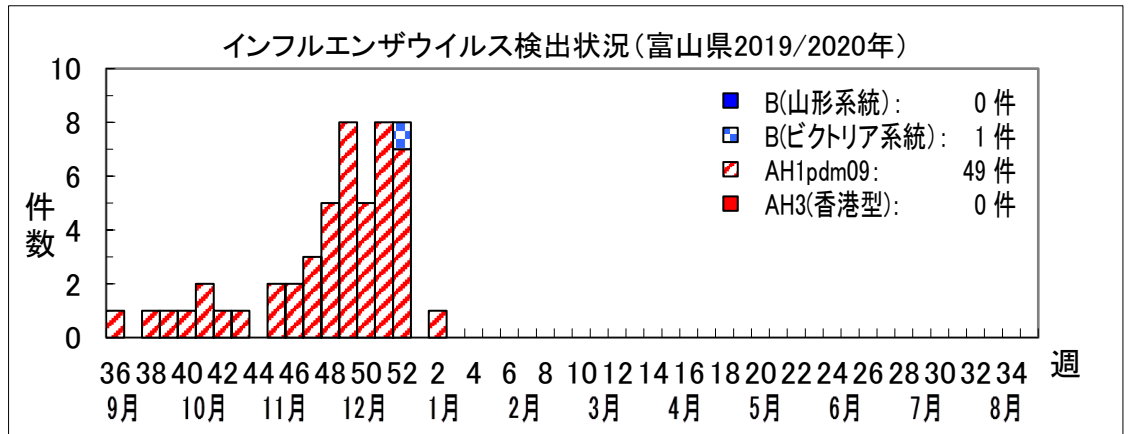
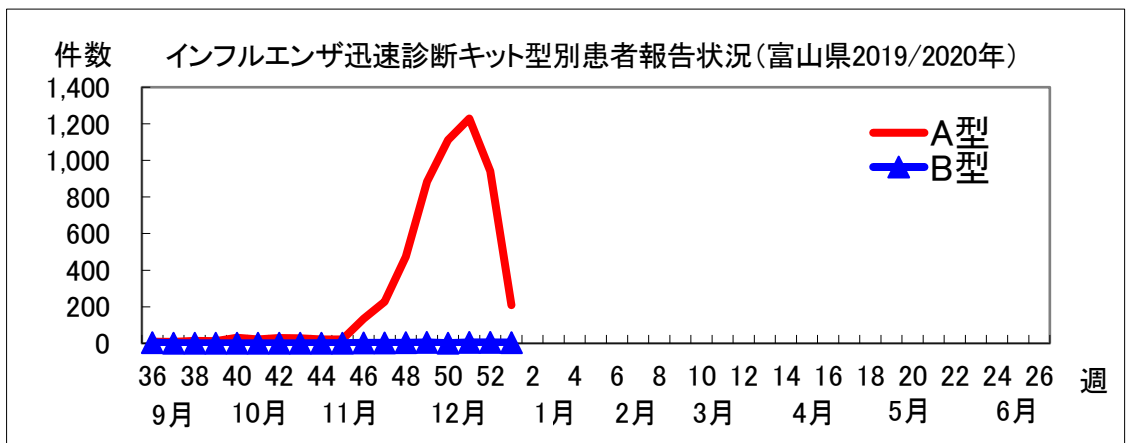
このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。

現在、下の表によると、A型が95.4%となっています。

第1週(12/30~1/5)：富山県 4.54人/定点 (単位:件)

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 ^{※2}	合計
		A型	B型		
新川	5 / 7	80	0	3	83
中部	5 / 5	20	1	0	21
高岡	9 / 13	22	0	2	24
砺波	6 / 7	44	0	0	44
富山市	11 / 16	42	3	1	46
富山県	36 / 48 ^{※1}	208	4	6	218
富山県累計(2019年36週~)		5,404	34	232	5,670

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が36か所あったことを示します。
 ※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。





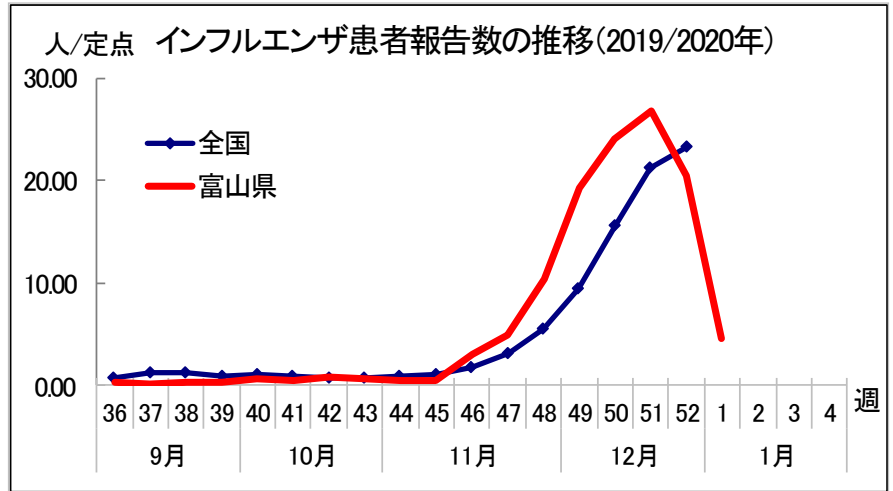
● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第1週 (12/30~1/5) : 富山県 4.54 人/定点

新川 HC (11.86)、中部 HC (4.20)、高岡 HC (1.85)、砺波 HC (6.29)、富山市 HC (2.88)

今週、県内の患者報告数は定点医療機関あたり 4.54 人でした。

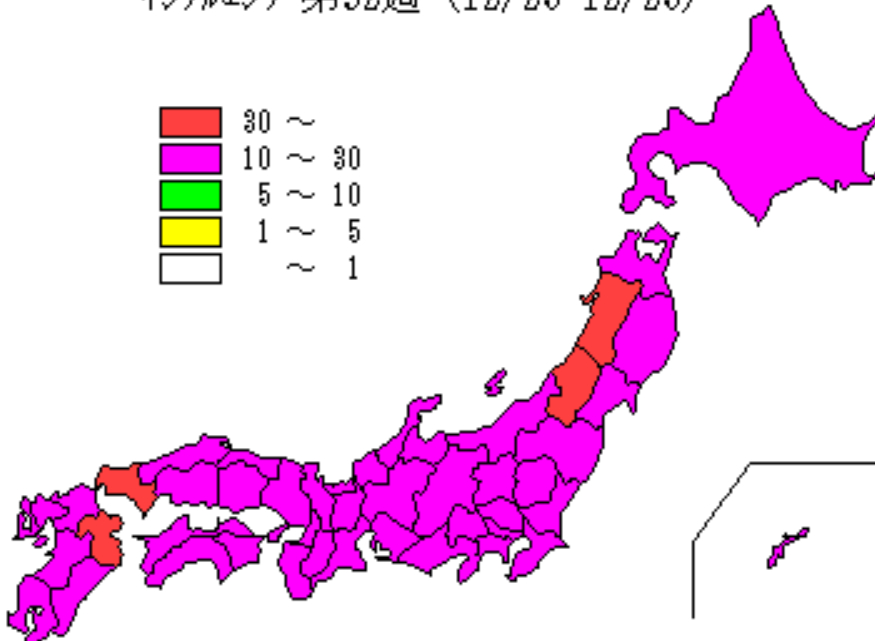
今後しばらくは流行が継続すると予想されます。



● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第52週 (12/23~12/29)

全国患者報告数は、定点医療機関あたり 23.24 人となり、前週の 21.23 人より増加しました。37 都府県で前週より増加しています。

インフルエンザ第52週 (12/23-12/29)



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	24.82	滋賀県	19.37
青森県	17.83	京都府	19.60
岩手県	22.06	大阪府	17.66
宮城県	28.19	兵庫県	22.52
秋田県	33.61	奈良県	14.76
山形県	30.28	和歌山県	11.02
福島県	25.80	鳥取県	27.62
茨城県	21.46	島根県	22.97
栃木県	25.67	岡山県	23.44
群馬県	22.35	広島県	19.42
埼玉県	28.61	山口県	38.39
千葉県	27.00	徳島県	16.27
東京都	23.18	香川県	16.26
神奈川県	22.41	愛媛県	19.59
新潟県	23.86	高知県	15.73
富山県	20.56	福岡県	23.56
石川県	25.04	佐賀県	24.10
福井県	19.65	長崎県	20.46
山梨県	21.29	熊本県	26.04
長野県	29.17	大分県	30.78
岐阜県	17.92	宮崎県	24.97
静岡県	17.55	鹿児島県	25.95
愛知県	29.94	沖縄県	11.17
三重県	26.00	全国	23.24